

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第2部門第3区分  
【発行日】平成17年8月4日(2005.8.4)

【公開番号】特開2003-220546(P2003-220546A)  
【公開日】平成15年8月5日(2003.8.5)  
【出願番号】特願2002-15290(P2002-15290)  
【国際特許分類第7版】  
B 2 4 B 21/00  
【F I】  
B 2 4 B 21/00 A

【手続補正書】  
【提出日】平成17年1月7日(2005.1.7)  
【手続補正1】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】特許請求の範囲  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【特許請求の範囲】  
【請求項1】

張力調整用ローラと駆動用ローラを配置し、前記ローラ間に研磨ベルトを掛け渡したベルト式研磨装置において、

アームの両端に前記研磨ベルトの裏面に当接するアイドルローラを設け、前記アームを所定角の範囲で往復回転させて前記ベルトの研削面の角度を変更可能としたベルト式研磨装置。

【請求項2】

張力調整用ローラと駆動用ローラを配置し、前記ローラ間に研磨ベルトを掛け渡したベルト式研磨装置において、

アームの両端に前記研磨ベルトの裏面に当接するアイドルローラを設け、前記アームを所定角の範囲で軸を中心に往復回転させて前記ベルトの研削面の角度を変更するとともに、前記角度に対応して前記アームの前記軸を進退させる手段を備えたベルト式研磨装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0007  
【補正方法】変更  
【補正の内容】

【0007】

【課題を解決するための手段】

このような問題を解消するために本発明においては、張力調整用ローラと駆動用ローラを配置し、前記ローラ間に研磨ベルトを掛け渡したベルト式研磨装置において、アームの両端に前記研磨ベルトの裏面に当接するアイドルローラを設け、前記アームを所定角の範囲で往復回転させて前記ベルトの研削面の角度を変更可能とした。